

算数科 学習指導案

1. 日 時 平成 25 年 2 月 21 日 (木) 第 2 時限 9 時 35 分～10 時 25 分
2. 学 年 小学校 2 年生
3. 場 所 第 2 学年 1 組教室 (24 名)
4. 単 元 名 「どんな計算に なるのかな」
5. 単元目標

- ・いろいろな問題について、演算決定をして、問題を解くことができる。
- ・自分の思ったことや考えたことを図や言葉で表し、発表する。

6. 単元について

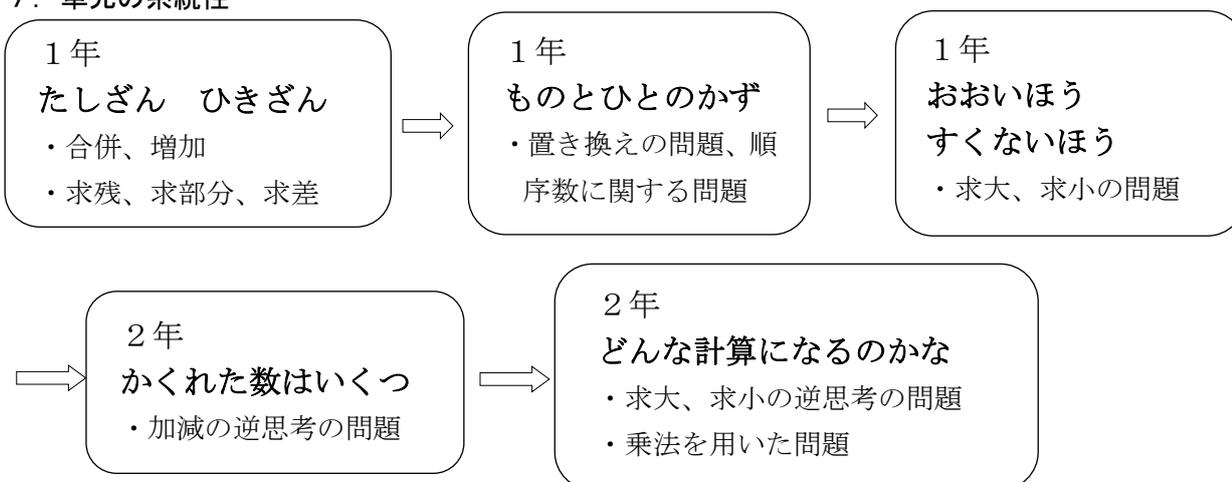
本単元では、求大・求小の逆思考の問題や乗法を用いて解決する問題について、問題場面を図に表わして数量関係をつかんだり、図をもとに演算を考えたり、その演算にあるわけを考えたりする。

算数の学習で大切なことは、演算を決定し答えを求めることだけではない。それよりもまず、問題場面の数量関係を理解することが大切である。そのために、問題場面から大切な要素を抜き出し、その関係を図や絵に表わしたりすることが大切である。学習指導要領の中でも、第 2 学年の算数的活動として「加法と減法の相互関係を図や式に表わし、説明する活動」があげられている。また、乗法の式に関しても「式を具体的な場面に即して読み取ったり、式を読み取って図や具体物を用いて表したりする必要がある。」と記されている。

図や絵は、立式し答えを得るための道具ではない。図や絵で表すこと自身も本単元の重要なねらいである。問題場面と図や絵、式が結び付いて初めて、問題場面の数量関係をしっかりと理解して問題を解決することができる。また、その考えを説明することができる。

これらのことを踏まえ、本単元では、図と式がしっかりと結びつくように授業を展開していきたい。また、自分の考えを説明する場面もできるだけ取り入れていきたいと考えている。

7. 単元の系統性



8. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
身近な生活の場面に見られる何算になるかを判断する問題に取り組もうとする。	必要な情報を選択して数量関係を捉え、解決方法を考えたり、そのわけを説明したりすることができる。	問題場面の数量関係を捉え、絵や図に表すことができる。また、適切に演算を決定して解決することができる。	問題場面の数量関係について理解している。

9. 単元の指導と評価の計画（全4時間）

時	児童が学習する内容	主な評価規準【4観点】
第1時	求小の逆思考の問題	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の場面に見られる求小の逆思考の場面で、適切な演算を判断する問題に取り組もうとする。【関】 必要な情報を選択し、数量関係をとらえ、解決方法を考えている。【考】
第2時	求大の逆思考の問題	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の場面に見られる求大の逆思考の場面で、適切な演算を判断する問題に取り組もうとする。【関】 必要な情報を選択し、数量関係をとらえ、解決方法を考えている。【考】
第3時 (本時)	乗法を用いて解決する問題	<ul style="list-style-type: none"> かけ算の演算決定をし、自分の考えを図や絵、言葉でかくことができる。【技】 図や絵を用いて、自分の考えを説明することができる。【考】
第4時	乗法を用いて解決する問題	<ul style="list-style-type: none"> 問題場面の数量関係について理解している。【知】

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

- 3個の4倍の意味を理解し、図や言葉にかき、解くことができる。

(2) 本時の評価規準

- かけ算の演算決定をし、自分の考えを図や絵、言葉で表すことができる。【技】
- 図や絵を用いて、自分の考えを説明することができる。【考】

(3) 本時の学習過程

時間	児童が学習する内容、 児童の学習活動	指導上の留意点 (●で表す)、 理解の不十分な児童へのてだて (★で表す) 等	評価規準【4観点】、評価方法
3分 つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 問題を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学習への動機づけとして ICT 機器を活用し、デジタル教科書で問題を提示する。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さくらさんは、公園で まつぼっくりを 3こ ひろいました。 たくみさんは、さくらさんの4ばい まつぼっくりをひろいました。 たくみさんは、まつぼっくりを 何こ ひろいましたか。</p> </div>			
5分 見通す	<ul style="list-style-type: none"> 問題文から読み取ったヒントとなる言葉や、ひらめきをふきだしに書く。 発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●解き方のヒントになるようなふきだしを評価し、発表を促す。 ★問題を読んで思ったことをふきだしに書くよう声をかける。 ●発表されたふきだしを内容別に色分けし、表示する。 	
15分 解決する	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもとに、問題を解き、考え方をワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●既習事項を想起させる。 ●問題場面を図や絵で表し、考えることができるようにする。 ★机間指導し、必要な場合は、ヒントカードを用意し、助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の演算決定をし、自分の考えを図や絵、言葉で表すことができる。【技】(ワークシートの記述)
17分 練り上げる	<ul style="list-style-type: none"> ペアで考えを交流する。 全体に発表する。 友だちの考えで、わかったこと、発見したことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えをもとに発表できるようにする。 ●ペアに図や絵を用いて説明させる。 ●発表の仕方、聞き方に気をつけて、伝える・聞くことができるようにする。 ●ICT 機器を活用し、児童の考えを大型テレビ画面に表示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵を用いて、自分の考えを説明することができる。【考】(発表の様子)
5分 まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 学習の振り返りを書き発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●わかったこと、発見したことを振り返りシートに書く。 	

